

令和6年
8月6日

No.83

ぎ かい の 広 場

市民と議会のかけはし

リニューアルしました！



CONTENTS

特集「子育て世代と議会」	2
一般質問	4
議案解説	11

賛否結果一覧	12
行政視察報告	12
お知らせ	14

特集

子育て世代 と 議会

子育て世代のお悩みはどのようなものがあり、どのようなサポートが必要なのでしょう。
日々子育てに奮闘する3名のママより、あんなかスマイルパークでお話を伺いました。

(本文中敬称略)

子育ての中で感じる悩みはありますか。

佐藤：子供たちを保育園に預けて仕事復帰することになり、家族との時間が減るのが心配ですね。仕事を1年休んで復帰したけど、子供たちは私が家にいる環境に慣れていますからね。朝早くからバタバタして家事などを1人でやらないといけないプレッシャーを感じると焦ることもありますね。夫の帰りが遅いとさらに大変で、子供たちの精神的な安定が心配になります。

岩井：特に自分が忙しいと、子供に対しての接し方がね、子供の目線で言いたいのに、どうも上から目線になっちゃうこともあるんですよね。上の子には判断力が当たり前にあると思って、親はつい甘えてしまうことがあります。後で自分が甘えていたことを反省することもありますね。

小林：2人の子育てをしていると、下の子のことも考えつつ、どちらかというと上の子の活動に合わせて動くことが多いので、2人への関わり方のバランスに悩むこともあります。

いまの話を聞いて、こんなサポートがあればいいとかっていうのはありますか。

佐藤：このスマイルパークの先生や保健師さんに話を聞いてもらうだけで、自分が救われてリフレッシュできるし、同じような状況のお母さんたちと会えると、みんなが頑張っていることを感じてありがたいと思いますね。そういう環境があれば心強いですね。

岩井：1年前に関西から安中市に引っ越してきたんですが、スマイルパークなどの施設情報をもっと提供してくれると助かります。安中市は転入者数も増えているみたいですし、今後も移住相談や交流の場を提供する施設があれば助かると思います。特にお父さん同士の交流や子育て支援情報を簡潔で見やすい形で提供してくれると助かりますね。

小林：子供が遊べる環境がどのくらいあるのか気になりますね。実際に利用している人たちはどんな風に遊んでいるのか、子供の年齢層はど



さとう しずか
佐藤 静香さん
安中市出身
長女（3歳）、長男（1歳）



いわい あやこ
岩井 綾子さん
京都市出身
長男（5歳）、次男（2歳）



こばやし ななえ
小林 七恵さん
高崎市出身
長男（4歳）、次男（1歳）



んな感じなのか、そういう情報があれば参考にしてみようかなと思っています。

そういう情報発信は今後ますます充実させる必要がありますね。これから子育てで大切にしていきたいことなどありましたら聞かせてください。

岩井：子育てを通じて、初めての経験や新しいことを楽しむことが大切だと感じています。子供と一緒に成長し、新しい体験を共有することで、自分も成長していると実感します。子供の初めてを大切に、自分自身も1人の人間として初めてを感じることを大事に生きたいと考えています。

佐藤：子供を大切に思いながら、自分自身も幸せに生きることが大切だと感じています。自分の気分を整えることが、子供に対しても余裕を持って接するために重要だと考えています。友達とランチに行くなど、自分の機嫌を取ることも大切で、心にゆとりを持って過ごすことで幸せを感じられるよう心がけています。

小林：お母さんだけが子育てをするのが当たり前という雰囲気がまだ残っている感じがしますが、お父さんも子供を見守る姿が増えてきている感じがします。夫婦で協力して子育てをすることが大切だと感じるし、お父さんも頑張っ

ている姿を尊重したいと思います。今はお母さんだけでなく、お父さんも子育てに関わることが当たり前になってきているんだろうなと思います。

本当に今日はいろいろありがとうございました。最後に今日のご感想ですとか、何かあれば聞かせたいと思います。

佐藤：議員さんと直接話す機会はないですけど、安中市をより良くするために、子育て世代の声を聞いてほしいですね。これからの未来が良くなる可能性を感じるから、またこのような機会を設けてほしいと思います。

岩井：議員さんと話す機会があまりなかったですけど、まちづくりを通じて話を聞いてもらえる姿勢は嬉しく感じます。子供に政治に興味を持ってもらうために、政治に関わる人が近くにいることを感じさせることが大切だと思います。政治に興味を持ててもらえるよう身近な存在でいてもらえると嬉しいので、よろしくお願いします。

小林：この機会をいただく前から、安中市は子育てに対してすごく力を入れてくださっているな、と思っていました。わたしたち、お母さんのお話を聞いていただけてありがたかったです。

こんなことを聞きました /

一般質問

一般質問とは…

市議会議員が市に対して行う質問です。
内容は提出議案にかかわらず、市政全般に及びます。このため、質問内容は議員により様々です。

皆さんの気になっていた質問、ご自身の生活に影響のある質問はありましたか？

今回の定例会では、13名の議員が33項目について質問をしました。

発言順に質問の要旨を掲載しています。

詳しい質問や答弁の内容は、質問者ごとに掲載している2次元コードからご確認ください。

質問項目の詳細は、以下のコードよりご覧いただけます。



一般質問通告一覧表のページを表示します。

・新庁舎に求められる機能について

・教育の機会均等について

本市の新庁舎建設は実施設計が完成し、8月末から工事に着手します。この機に、新庁舎をどのような機能を持った庁舎としていくのか。人にやさしい機能と環境にやさしい機能について、さらに市民との協働やまちづくりを進めるための機能について、それぞれ伺いました。

次に、憲法26条には「義務教育は、これを無償とする」とあります。これは、家庭の経済状況に左右されず、すべての子どもが教育を受けられるようにするためです。この意義を事務を執行する行政と、子どもの教育に第一義的責任を負う保護者は、それぞれにどう考えたら良いのか。そ

こには保護者の経済状況によって歴然とした格差が生じていることも事実です。教育の機会均等について、いじめや不登校といった子どもたちの心に起因する諸課題と、社会・経済格差について。さらに外国人児童生徒の現状について伺いました。



安中市新庁舎イメージ図



新風新政会
さとう たか お
佐藤 貴雄



詳しい内容は
こちら

・未来を担う子どもたちが健やかに育つまちについて



新風新政会
いまい としひろ
今井 敏博



詳しい内容は
こちら

未来を担う子どもたちが健やかに育つまちについて質問しました。

岸田内閣が異次元の少子化対策を進めると国民に約束をしましたが、その内容について、国民からは賛否が分かれているのも事実であります。特に財源について疑問視する声が沢山上がっています。こういった中、少子化に歯止めは効かず賃金アップも物価高騰に追い付かず子育て世帯の生活は大変厳しい状況が続いています。

安中市においても昨年の出生数は222人と大幅な減となっており、子育て支援は急務であることは言うまでもありません。真の子育て支援にはトップである市長の英断が必要であることは言うまでもなく、全庁を

あげて取り組むべき最重要施策の一つであります。職員全員が今までとは違った視点と感性でアイデアを出し政策提言して行く事が重要である事を踏まえ、少子化対策の推進について、子育て環境の充実について、子どもの成長への総合的支援体制の推進について、STOP少子化！あんなかプロジェクト本部について質問しました。



子どもの未来のために

・雨水対策の内水氾濫への対応、浸水想定区域図の作成について

・崇台山と里山の花畑自然共生サイトへの認定や周辺整備について

記録的な豪雨が毎年全国各地で発生しています。安中市は内水氾濫についての想定は進んでいません。本市は令和元年の台風19号では大きな災害は発生しませんでしたでしたが、住宅街を流れる用水路から水が溢れ、あと少しで家が浸水する箇所がありました。浸水想定区域図作成の進捗や内水氾濫が想定される箇所の公表、市民への周知について。また、内水氾濫が想定される箇所の今後の対応策について質問しました。

「里山の花畑と崇台山の山麓」が生物多様性の保全が図られているとし、環境省の「自然共生サイト」に認定されました。学習の森との一体

的な整備や西毛広幹道も近く開通することから、市内外への周知等を聞きました。本市の使命は自然の恵みを守り、子どもたちに豊かな自然を引き継ぐことであり、安中市ネイチャーポジティブ宣言※について聞きました。その他学習の森について質問しました。



里山の花畑&崇台山入口



清風クラブ
おがわ つよし
小川 剛



詳しい内容は
こちら

※ネイチャーポジティブ宣言…「自然再興」との意味で、地球の豊かな自然を回復軌道に乗せるため、生物多様性の損失を止め、反転させることへの宣言。

・市における教育施策について

・市業務のD X推進状況について



新風新政会
う さ み まこと
宇佐美 誠



詳しい内容は
こちら

1 項目目の市における教育施策についてです。過日、LINEを活用した市民アンケートを行う中で、安中市の教育において求めるものを尋ねたところ、全ての年代で「教員の質の向上」が上位3位以内に入っていました。

さらに、報道等にもあるとおり、教員の働き方改革については、多くの課題があります。国や専門家などが行った調査では、若手教員やクラスの人数が多い担任などの勤務時間は、前回調査から減ったものの、比較的長い傾向であることや、教員不足の実態が見られることが分かりました。

5月には、所属する常任委員会の

視察で宮城県白石市を訪問し、教員に余裕、心のゆとりが必要であることを拝聴しました。

そこで、教育の質の担保につながる教員不足の現状や、その対策としての教育現場での働き方改革について伺いました。

また、後閑小、細野小が閉校することに伴い、児童はスクールバスによる通学となることが見込まれます。

そこで、スクールバスの運用について、現状や今後の予定について伺いました。

その他、市業務のD X推進状況について質問しました。

・生活保護について

・不登校対策について

1. 桐生市で発覚した生活保護費受給者に対する異常な対応に、衝撃的な実態が明らかになりました。憲法25条は「すべて国民は健康で文化的な最低限度の生活」が保障されているはずですが。窓口に見えた市民に、人権・生存権を尊重した対応ができていたのでしょうか。

2. 中学校などの卒業式で本人不在のまま不登校の生徒の名前が呼ばれる情景を目にしたことがあります。全国では30万人とも言われる不登校児童生徒のために「不登校特例校^{*}」を設置して、生徒に、みんなに祝福されて卒業証書を渡せる学校にしてほしいと思います。

その他、本年2月、廃校になった九十九小学校の「備品譲渡会」がありました。市民のみが原則なのに、高崎市から外国人のグループが参加していました。不要になったものを処分する目的は分かりますが、備品は市民の血税で備えてきたもの。譲渡は慎重にすべきではないでしょうか。廃校になった小中学校がすでに8校あります。廃校の利活用にインターネットなどを通して、全国的に募集もしていますが、市民団体や地域の住民が利活用を検討した場合、市としても支援をすべきではないでしょうか。



日本共産党安中市議団

かない ひさお
金井 久男



詳しい内容は
こちら

^{*}不登校特例校…不登校児童生徒を対象とする特別な教育課程を編成して教育を実施する学校。現在全国で24校。

・電子地域通貨事業について

・ふるさと納税について



新風新政会
いけしま としあき
池島 利明



詳しい内容は
こちら

1 項目目は、電子地域通貨事業です。デジタル技術が急速に発展する中、デジタルは地方の社会課題を解決する鍵であり、新たな価値を生み出す源泉となっています。本市においても、デジタル技術を最大限に活用しながら、地域の個性を生かしたまちづくりを進めることで、持続可能で活力のある未来社会の実現を目指す必要があります。本事業は、デジタルを活用したまちづくりの一つであります。市内経済の活性化が図れ、市民や事業者が共に事業の恩恵を享受できるシステムが求められます。策定内容や現在の考えなどについて伺いました。

2 項目目は、ふるさと納税です。応援したい自治体へ寄付ができる制度ですが、歳入の確保に有効的な事業であり、事業者への応援や販路機会の創出による地域活性化へもつながる事業です。寄付増加に向けての本市の取り組みなどについて伺いました。



電子地域通貨の決済イメージ

・地方分権の「今」と今後の課題について

・熱中症の予防と対策について

1 項目目の地方分権の「今」と今後の課題についてです。国会が地方分権の推進を決議して31年が経ちます。今日、多くの自治体で人口減少が深刻さを増しており、自治体の関心もさらなる自治の拡充よりは、自らの持続可能性の確保へと向かいがちです。そうした中、先の国会で大規模災害など非常時に地方自治体への国の指示権を拡大する改正地方自治法が成立しました。そうしたことから、これまでの分権改革の歩みや本市の取り組みを通して、地方分権の「今」と今後の改革に向けた課題について質問しました。

2 項目目の熱中症の予防と対策に

ついてです。気象庁によれば1990年代以降、最高気温が35℃以上の猛暑日や最低気温が25℃以上の熱帯夜の日数が増加しています。今年も早い時期から真夏日になっている所もあり、今後さらに暑さが厳しくなり最高気温が40℃を超える日も珍しくなくなる可能性もあります。熱中症へのより積極的な予防と対策を取らなければ、市民の暑さによる健康面のリスクが高まります。そのため、行政による熱中症対策はもとより、企業や団体等と連携した対策について質問しました。

その他、病児保育について質問しました。



清風クラブ
まつもと つぎ お
松本 次男



詳しい内容は
こちら

・ 財政健全化について

・ 学校運営について



新風新政会
こばやし かつゆき
小林 克行



詳しい内容は
こちら

1 項目目は財政健全化について質問しました。人口減少が急速に進む中、行政サービスやインフラを維持していく上で、健全な財政運営がより強く望まれます。そして、財政指標として重要なものに「経常収支比率」という数値があります。これは自治体の財政の弾力性を示すもので、この数値を見ることで市の財政にどの程度余力があるか分かります。そして、公立碓氷病院への一般会計からの繰り出しがこの数値にどの程度影響するのか、また、新庁舎の建設費用がこの数値にどう影響するのかを質問し、それに対する施策について質問しました。

2 項目目は、学校運営について質問しました。集団で学校生活を送る以上、校則という一定のルールは必要ですが、過剰なルールは子ども達の人権を侵害しかねません。また、昨今の猪や熊の出現や災害レベルの猛暑による熱中症など、子ども達の通学の安全性が危ぶまれています。例えば、行政区が指定する学校より隣接する学校の方が距離が近い場合は、なるべく近い学校へ登校させるなど柔軟な対応が望まれます。校則の見直しや熱中症対策について質問しました。その他、磯部温泉街周辺の悪臭問題について質問しました。

・ 閉校後の校舎施設の利活用について

閉校後の校舎施設の利活用について、本市は速やかに活用に関する考え方や方針を、明確に示す必要があります。ある一定の基準を示すことにより、利用や取得を考える場合、判断材料になります。

本市は、財政負担の観点や維持管理コスト面など、慎重な検討のもと判断し決断していくことが求められています。今後、売却や老朽化に伴う撤去等の方向性を示し、地域住民に対して説明し、要望なども聞き入れ調整し進めていくことが大切です。

いずれにしても、維持管理费用や耐用年数の問題、地域住民や利用希望者の要望に対する検討や判断、そ

して説明など。利活用の課題は地域にとっても重要な問題であり、今後の地域の衰退にも関わってきます。利活用の検討は迅速に進め、本市にとって負の資産にならないよう全庁を挙げて取り組む必要があります。

以上の観点から質問しました。



新風新政会
かない とみお
金井登美雄



詳しい内容は
こちら



早急な利活用の検討が望まれる
閉校後の校舎施設

・磯部温泉周辺整備について

・学校給食における食品ロスについて



清風クラブ
やなぎさわ ひろゆき
柳沢 浩之



詳しい内容は
こちら

磯部温泉は温泉記号発祥の地であり、その石碑は観光スポットになっています。足湯・磯部せんべいに加え、新たに賑わいの創出としてスイーツの店が出店され、花火大会やeスポーツなどのイベントも開催され、多くの観光客が訪れています。温泉地として、観光客が散策し楽しむために風情ある鉱泉橋や遊歩道などの整備、観光周遊バス「グリーンスローモビリティ※」の導入について質問しました。

食品ロスは、学校給食でも発生しています。学校給食の食品廃棄物の発生等は、食べ残しが最も多く、次に調理残渣となっています。食品ロ

スの削減のために、調理くずや食べ残しなどの食品残渣を回収し、再生利用することが必要です。また、食の大切さを理解し、健康的な食生活を維持するための知識を育むことの大切さについて質問しました。

その他、プラスチックごみの削減について質問しました。



日本最古の温泉記号

※グリーンスローモビリティ…時速20km未満で公道を走行することができる、電気自動車による小さな移動サービス。

・高齢者支援について

・女性支援について

1項目目は、高齢者支援についてです。

2023年の日本の高齢化率は、29.1%と過去最高を更新し2024年に30.1%になると予想されています。安中市の高齢化率は毎年増加傾向にあり、令和6年3月末現在36.8%で、約3人に1人が65歳以上となっています。

高齢者の方が住み慣れた地域で安全に安心して日々の生活を送れるよう、支援の充実は、大変重要であると考えます。

そこで、認知症施策について、高齢者見守り支援について、身寄りがいない高齢者のサポートについて、難聴者にやさしい窓口業務について、

ゴミ出し支援について、それぞれ、質問しました。

2項目目は、女性支援についてです。

本年4月1日に、「困難な問題を抱える女性への支援に関する法律」が施行されました。困難な問題を抱える女性の人権を尊重し安心して、かつ自立して暮らせる社会の実現に寄与することを目的としています。

施行を機に、更なる支援の拡充を図らなければなりません。

そこで、困難な問題を抱える女性支援について、現状の取り組みや今後の支援の拡充について質問しました。



公明党
ながしま ようこ
長嶋 陽子



詳しい内容は
こちら

・カーボンニュートラルに向けた有機農業の取り組みについて



日本共産党安中市議員

はらだ だい
原田 大



詳しい内容は
こちら

地球温暖化は大規模災害を引き起こすだけでなく、気候の大幅変動により農業に大打撃を与え、日本の食料危機を呼び起こす可能性があります。最近の高温障害から来る野菜の高騰や、2023年産の米の需給が逼迫しているというニュースはこの前触れです。

一方、農業は温室効果ガスから無縁であるように思いますが、産業別にみると農業の温室効果ガス排出量は無視できないレベルです。その一方で、農業は炭素を貯留・吸収するという観点からも大きく貢献できる要素をもっています。カーボンニュートラル※に向けた農業分野での取り組みの目指すところが、「有機農

業」です。日本のカーボンニュートラルに向け、影響力が少なからずある群馬県そして本市の農業の中で、避けては通れない道である有機農業をどのように考え、本市が進めているのかについて、国の取り組み、県の取り組みとの整合性を確認する目的で質問しました。



市内の有機栽培による大豆畑

※カーボンニュートラル…地球温暖化防止のため温室効果ガスを排出せざるを得ない分について、同じ量を吸収又は除去することで、差し引きゼロを目指す考え方。

・子どもにやさしいまちづくり事業の推進について

・子ども誰でも通園制度について

子どもにやさしいまちづくり事業は、子どもの権利条約を自治体レベルで具現化するための、ユニセフが提唱する世界的な運動です。その特徴は“まち”の人々が、みんなの“まち”を作っていくこと。とりわけ、子どももまちづくりの主体者として位置付ける。今、日本の自治体でこの取り組みが広がっています。子どもの権利条約では、「生きる権利」「育つ権利」「守られる権利」「参加する権利」の4つが、子どもたちが持つ基本的な柱とされています。子どもが一人の人間として扱われ、社会と関わることなしに、安全で安心な持続可能な地域の未来はありません。

市の見解を伺いました。

子ども誰でも通園制度は、子育て家庭の多くが「孤立した育児」の中で不安や悩みを抱え、支援の強化を求める意見がある中、全ての子どもの育ちを応援、良質な成育環境を整備し、就労要件を問わず利用できる新たな制度です。実施に向け市の見解を伺いました。

その他、地域の気象防災対策の推進、再生可能エネルギーの活用・推進について質問しました。



公明党
むしゃ ようこ
武者 葉子



詳しい内容は
こちら

議

案

解

説

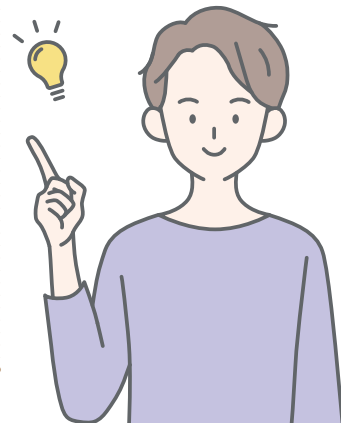
主な審議結果を解説



令和6年安中市議会第2回定例会は、6月10日から6月24日までの15日間の会期で開催されました。

市長から5議案、議会から1議案、合計6議案が提出されました。

今号では、その中から2議案を解説します。
全議案の審議結果一覧は12ページに掲載しています。



議案第69号 令和6年度安中市一般会計補正予算（第1号）

物価高騰などに対応する補正予算525,774千円を可決

補正予算525,774千円の内、物価高騰対応給付金給付事業として497,548千円を計上しています。住民税の課税状況などにより4種類の事業があり、物価高騰に対応します。

①こども加算	11,703千円
②非課税化給付	63,206千円
③均等割のみ課税化給付	47,274千円
④調整給付	375,365千円

審議の中で、それぞれの事業に関する質疑がありましたが、今回はこども加算について主な質疑を掲載します。

Q：こども加算の内容は。

A：令和6年度において、新たに住民税非課税、また均等割のみ課税となる世帯における18歳以下の子供が対象。
給付額は1人あたり5万円。

学校給食費の無償化を求める意見書を可決

安中市議会では、これまで国に対して学校給食無償化の早期実現を求める意見書を提出してきました。今回、群馬県に対して以下の項目についての意見書を提出しました。

- 1 国に対して学校給食費無償化に向け、2分の1以上の補助、費用負担を働きかけること。
- 2 国が公費負担を実施するまでの間、県内全ての学校給食費の無償化に取り組める制度設計を行うこと。

令和6年第2回定例会 議員個人の賛否結果一覧表

議案名	議席番号	議員名																				結果
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
		原田大	金井久男	宇佐美誠	池島利明	長嶋陽子	武者葉子	金井登美雄	小林克行	巽久男	壘次雄	松本次男	小川剛	櫻井善久江	小林訂史	佐藤貴雄	今井敏博	吉岡完司	柳沢吉保	柳沢浩之	高橋由信	
議案第65号	安中市体育施設条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第66号	安中市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第67号	群馬県後期高齢者医療広域連合の規約変更に関する協議について	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第68号	旧群馬県立安中高等学校校舎等解体工事に係る工事請負契約の変更契約締結について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議案第69号	令和6年度安中市一般会計補正予算（第1号）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決
議会議案第2号	学校給食費の無償化を求める意見書（案）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	○	○	可決

※議長は、採決に加わらないため「-」としています。

【○：賛成 ×：反対 除：除斥 欠：欠席】

廃校活用・DX推進・不登校支援を学びました

総務文教常任委員会 委員長 金井登美雄

当委員会では、山形県村山市・宮城県岩沼市を、令和6年5月15日から17日の日程で視察しました。山形県村山市では、廃校施設利活用「賑わい創造活性化施設」について視察しました。本市の廃校利活用の取り組みにつなげていきたいと思います。宮城県岩沼市では、DX推進の本格的な取り組みについて学んできました。より一層本市のDX推進体制を充実していきます。

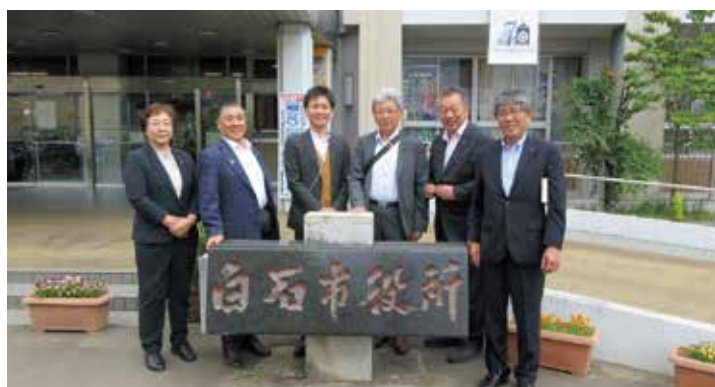
宮城県白石市では、本市の「せせらぎの家」の強化をはじめ、廃校の利活用にもつながることから、不登校支援・不登校特例校について視察しました。



岩沼市



村山市



白石市

母子保健と児童福祉・子育て応援アプリ・効果的な情報発信を学びました

福祉民生常任委員会 委員長 松本 次男

令和6年5月22日から24日の日程で、山形県寒河江市・宮城県多賀城市・埼玉県蕨市を視察しました。

寒河江市では、「こども家庭センター」を設置し、母子保健と児童福祉の両機能の一体的な運営を通して、子育てに困難を抱える家庭から虐待への予防的な対応まで包括的な支援を切れ目なく提供しています。

多賀城市では、乳幼児健診や予防接種のスケジューラー機能、子どもの成長が記録できる母子健康手帳機能などを備えた子育て応援



多賀城市

アプリ「たがすく」で子育て支援情報を配信し、育児の負担軽減を図っています。

蕨市では、地域貢献活動団体と行政の協働で動画を作成し、子育て情報や市の取り組みなど映像を通して紹介しています。



寒河江市
CLAPPIN SAGAE



蕨市

官民連携のまちづくり・中小企業振興・観光振興を学びました

経済建設常任委員会 委員長 小川 剛

経済建設常任委員会は、令和6年5月13日から15日迄の日程で、福井県越前市で「北陸新幹線越前たけふ駅周辺での官民連携PPPプロジェクト」を、京都府長岡京市で「中小企業振興基本条例について」、京都府向日市で「向日市観光振興と古墳を活用した観光、竹の径について」の行政視察を行いました。

越前市は、新しい新幹線駅「越前たけふ駅」が開業し、駅周辺まちづくりを進めています。



越前たけふ駅



向日市竹の径



長岡京市

民間事業者と周辺開発を進めた結果、令和8年に竣工予定の民間企業の研究開発センターが決定し、今後はホテルの誘致を目指すなど駅前整備で新たな街づくりを進めています。観光客の増加を目指す施策や新たな移住者の呼び込み、定住者増の取り組みを学びました。他2市も充実した有意義な視察研修となりました。

安中市議会のホームページでは行政視察報告書を公開しています。

視察報告の詳細はこちら→



議会を傍聴 しませんか



次の定例会(予定)

日	月	火	水	木	金	土
					8/30 本会議 開会 9:30～	31
9/1	2	3	4 総務文教常任委員会 9:00～	5 福祉民生常任委員会 9:00～	6 経済建設常任委員会 9:00～	7
8	9	10 決算審査特別委員会 9:00～	11 決算審査特別委員会 9:00～	12 決算審査特別委員会 9:00～	13	14
15	16	17 本会議 一般質問 9:00～	18 本会議 一般質問 9:00～	19	20 本会議 閉会 9:00～	

傍聴のご案内

- 議場は旧庁舎3階です
- 受付用紙に住所・氏名を記入してください
- 議案書の貸し出しをしています(先着5名)

ネットでも視聴できます

- 本会議はネット中継しています
- 過去の本会議映像も配信しています
- スマホやタブレットからどうぞ



映像配信は
こちら

リニューアルのお知らせ

今回よりタイトルを「ぎかいの広場」として、全面的にリニューアルを行いました。
親しみのあるデザインと分かりやすい内容を心がけ、議会の情報を発信します。
より多くの方にご覧いただけると幸いです。



委員長 柳沢 浩之／副委員長 池島 利明
原田 大／宇佐美 誠／長嶋 陽子／金井登美雄／松本 次男／櫻井喜久江